

「令和7年度 札幌市文教施策に関する要望書」意見交換会

日時: 令和6年12月26日(木) 13:30

会場: 札幌市教育委員会 6階 A・B会議室 (札幌市中央区北2条西2丁目15 STV北2条ビル)

司会進行: 札幌市教育委員会 生涯学習推進課 社会教育担当課係長 釜石さま

【札幌市教育委員会 井上生涯学習部長さま ご挨拶】

皆さんこんにちは。改めまして、生涯学習部長の井上でございます。今、お話にありました通り、文教施策に関する要望書、令和7年度バージョンということで、高原会長へ教育長の方から回答書の方をお渡しさせていただきました。改めて、回答書の方は皆様のお手元にもお配りしているかと思えます。

今、教育長の方から会長にもお話申し上げたんですけれども、いろんな観点から要望いただきまして、教育委員会、学校が抱えている課題と基本的には同じだということで改めて認識させていただきました。

また、一緒にいただいた意見書につきましても真摯に読ませていただきまして、本当に普段我々がそだよなと思っていることとほぼ同じ内容が書いてございましたので、我々もそこをしっかりと受け止めさせていただいて、今日明日にということにはならないこともあります。少しでも改善できるように努めてまいりたいという風に考えております。

今日は短い時間ですけれどもどうぞよろしく願いいたします。

【意見交換会開始】

①【授業・学習に関して】 坂上 康治(厚別区 PTA 連合会)

ICTを活用した子どもたちへの学習支援の取り組みに感謝します。

ICTの活用について、特に個別対応が必要な児童生徒の場合に限らず、例えば、

- ・日常的に Google Classroom を活用した情報共有をする
- ・インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の回復期の出席停止時や、学級閉鎖などの場合などに Meet を活用した授業配信をするなどの取り組みを推進すると、学びの継続が確保しやすいと考えます。

これら ICT 活用の更なる推進について、現状の課題や具体的な取り組みがあればお聞かせください。

また、ICT 活用状況をモニタリングし、地域や学校、学年、クラス間の使用状況の差を見える化することで、有効活用の事例や、課題を見つけることが容易になると考えます。ICT を有効活用できている学校の実例共有など、ICT 活用の推進を力強く継続するための方策について、事例や見通しなどをお聞かせください。

【回答】 佐藤部長(学校教育部長)

Google Classroom による情報共有や学級閉鎖時等における授業配信などの ICT を活用した取組については、各校で必要に応じて取り組んでおります。

ICT を有効活用している学校の実例共有については、1人1台端末の効果的な活用に係る研究推進校の取組を普及・啓発するなど、全市への展開に努めています。

教育委員会としては、端末及びアプリケーションの活用状況を学校へのアンケート調査等で捉えながら、引き続き、ICT の効果的な活用を促進するための研修等の支援に努めてまいります。

②【教職員に関して】 村田 優樹(中央区 PTA 連合会)

少人数学級について、ご配慮いただき感謝いたします。

加配定数が増えているにも関わらず、教職員の増員については未だに要望が続いております。

教職員の負担を軽減するため、教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)について増員する見込みがあるのかお聞かせください。

また、専門的な指導ができる部活動指導員の拡大の方向性についてお聞かせください。

【回答】 菅野部長(教職員担当部長)

教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)に相当する校務助手及び福祉補助員について、前者は既に全校配置しているところであり、後者については配置校拡大を進めているところです。

顧問教諭と同等の活動が可能となる部活動指導員については、今後も拡大していきたいと考えています。

③【特別支援・通級指導教室に関して】 加藤 秀実(清田区 PTA 連合会)

校内研修への特別支援教育の専門家派遣について、お伺いいたします。

どのような方々を予定しているかお聞かせください。

【回答】 菅野部長(教職員担当部長)

大学教員を予定しております。

④【支援専門スタッフに関して】 八木 静花(豊平区 PTA 連合会)

最新のスクールソーシャルワーカー(SSW)の配置人数・資格・勤務形態をお聞かせください。

【回答】 喜多山部長(児童生徒担当部長)

社会福祉士又は精神保健福祉士の資格を有する方々が会計年度職員として勤務しております。勤務は週 30 時間となっており、A 区分(週4日8:45～17:00)と B 区分(9:00～15:45 または 10:15～17:00)から選択する形態となっております。人数は SSWSV が5名、SSW が 10 名おり、札幌市を5エリアに分け各エリア3名体制(SSWSV1 名、SSW2名)とし、各学校に担当 SSW として配置しています。

⑤【いじめに関して】 和田 敬太(西区 PTA 連合会)

「相談窓口周知カード」についてですが、援助を求めていくことができる資質とは具体的に何かをお示しください。また、小学校3年生以下の児童が不安や悩みをもったときのアプローチの手法や解決に向けての道筋をお聞かせください。

【回答】 喜多山部長(児童生徒担当部長)

特に小学校3年生以下などの低学年の児童については、困ったことや心配なことを身近な大人である保護者や教職員に気軽に相談できるよう、日頃から教員が子どもに声掛けをしていくことが大切であると考えています。そして、子どもが「相談してよかった」と実感できるよう大人が親身になって話を聴くことが何より大切であり、このことが子どもの不安や悩みの解決のために欠かせない第一歩となると考えています。

小学校3年生以下の低学年の児童については、発達の段階を考慮し、子どもの指導と併せて、カードの内容について、保護者や教職員にも周知するよう検討してまいります。

⑥【学校設備に関して】 吉村 綾子(白石区 PTA 連合会)

常設エアコンの設置にご尽力いただき感謝いたします。

各校との情報共有を密にさせていただくことを徹底していただき、最新の常設エアコンの整備情報を、生徒・保護者へ確実に届けるよう学校のホームページに表示するよう指導することは可能でしょうか。

【回答】 池田部長(学校支援担当部長)

常設エアコンの整備に関しては、市役所ホームページ「市立学校・幼稚園の暑さ対策について」というページを作成し、ソフト面の暑さ対策を含め、現状お知らせできる情報を公表しているところです。

今後、供用開始時期の見込など、より詳細の情報をお知らせできる状況になり次第、適宜当該ページを更新してまいります。

⑦【幼稚園に関して】 安達 里香(北区 PTA 連合会)

令和7年度札幌市立幼稚園児募集につきましても、3歳児・4歳児ともに定員に満たず追加募集を行っておりますが、定員割れ対策のお考えと対策をお聞かせください。

【回答】 菅野部長(教職員担当部長)

市立幼稚園の教育の魅力発信のため、12月に「市立幼稚園ポータルサイト」を立ち上げました。

今後は一層積極的に幼児教育及び市立幼稚園について情報発信と広報活動を行い、子育て家庭へのアプローチを行ってまいります。

⑧【部活動に関して】 安達 里香(北区 PTA 連合会)

部活動の情報共有と学校間連携に特段のご配慮をいただき感謝いたします。

引き続き、中学校入学を控える小学校6年の保護者に届くよう、より一層力の情報共有をお願いいたします。

また、部活動の地域連携が、どのように進み外部指導者の活用数の推移や他校との連携数、特に日常的に合同練習していて中体連その他の大会に合同チームとして出場している団体数の推移など数値をお示しください。

【回答】 喜多山部長(児童生徒担当部長)

部活動の情報につきましては、各中学校における部活動に係る活動方針を作成し、学校ホームページに掲載することなどにより、今後も情報共有を図ってまいります。

外部指導者の活用状況につきましては、顧問教諭と同等の活動が可能となる部活動指導員につきましては、令和5年度の68名から15名増員して、令和6年度においては83名分の予算を確保しているところです。また、単独で指導が可能な特別外部指導者につきましても、令和6年度は令和5年度と同様に32名を配置している状況です。学校部活動の更なる充実を図るため、今後も外部専門人材の活用に向けた検討を進めてまいります。

また、隣接する学校の部活動に参加することが可能となる学校間連携方式により、令和6年度においては50校の113名の生徒が他校の部活動に参加している状況です。

合同部活動については、学校が中体連事務局へ報告することとなっているため、確認したところ、16部とのことでした。(総数 16 : サッカー5(12)、野球9(19)、ハンドボール女子1(2)、アイスホッケー1(15))

※かっこ内は学校数

⑨【図書に関して】 安達 里香(北区 PTA 連合会)

学校図書館の蔵書充実や、小学校への学校司書の配置にご配慮いただき感謝いたします。

引き続き小学校への学校司書の配置に向けご尽力いただけるようお願いいたします。

また、中学校に勤務する学校司書を小学校に派遣するモデル事業について、今の段階での成果が認められているのであればお聞かせください。

【回答】 佐藤部長(学校教育部長)

学校図書館資料の分類・整理について、専門的な知識と経験をもつ学校司書が関わることで、学習センター・情報センター・読書センターの3機能を踏まえた配架が進められています。

学習に係る図書資料の準備を学校司書が行うことで、複数の図書資料を活用した学習の充実が図られるとともに、授業を行う担任等の負担軽減につながっています。

また、これまで司書教諭が中心となっていた選書や除籍といった業務を分担することで、司書教諭の負担軽減にもつながっています。学校司書が中心となり、開放司書、ボランティアと協働しながら夏季休業に向けた貸出等を推進した結果、月当たりの貸出冊数に上昇が見られた学校も見られます。

教育委員会としては、冬季休業中や3学期の図書の貸出等が推進されるよう、引き続きモデル校の学校司書を支援してまいります。

⑩【すぐーるに関して】 青山 英樹(南区 PTA 連合会)

「すぐーる」の PTA 活動について学校長、園長のお考えによる運用の可否など、各校において不均等な状況となっております。様々な事情をお持ちの家庭が存在することは理解しますが、子どもたちには PTA が実施する事業に関する情報が等しく届き、参加する機会が平等に設けられることが望ましいと考えますので、全ての学校が正しく運用できるルールをお示しいただき、問題点を早期に解消できる体制構築についてのお考えをお聞かせください。

また、各校の PTA 役員がチャンネルの運用ができる「サポート要員」の詳細をお聞かせください。

【回答】 池田部長(学校支援担当部長)

すぐーるは、学校教育活動について、当該校の全ての保護者へ確実に閲覧いただくようプッシュ通知としております。選択の余地のない配信であるため、配信件数や内容の精選が求められることから、教育委員会では、現在、各学校の配信目安となるガイドラインを作成中です。

一方、PTA は任意団体であるため、PTA 活動の配信にあたっては精選が必要と考えており、例えば、PTA と学校が連携・協力した学校行事や学校運営に関すること等、緊密な連携の維持に向けて、検討を重ねているところです。

また、「サポート要員」は、運用基準において「PTA 役員・部活動外部指導者 等」と例示しています。当該校の PTA 役員等が学校支援活動を行う際の連絡調整に活用することを想定しており、学校長又は園長が認めた場合に指定のチャンネルの運用が可能となるものです。

【札幌市 PTA 協議会 青山総務委員長 ご挨拶】

この度は要望書の回答書、手交式並びに意見交換会の機会をいただきました事、心より感謝申し上げます。今回の要望書は、去年の12月にPTAの会員の皆さまから寄せられた3,033件の要望を総務委員会にて特に多く寄せられたものや重要性の高いものなど10項目を優先して、精査取りまとめをさせていただきました。また、このたびの要望書への記載に至らなかった多くの声をお届けするために、本年度も意見書として36項目を提出させていただきました。

意見書につきましては、特段回答を求めるものではありませんが、要望書同様に一人ひとりの保護者の声としてお留め置きくださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

本日の意見交換会では、更に深く具体的にお答えいただき、ありがとうございます。一保護者として感謝と共に安心感につながりました。

さて、ここにご出席いただきました教育委員会の皆さまも仕事を終え家庭に戻ると、私たちと同じ父であり母であり一人の保護者となりPTAの大切な仲間となります。

私たち札幌市 PTA 協議会は、教育現場について日々ご尽力いただいている教育委員会の皆さまと、子どもたちの一番身近にいる保護者が、共に手を携え、未来ある子どもたちの学びの環境の向上と、子どもたち一人ひとりが、楽しく充実した学校生活が実感できるよう、これからも力を合わせて参りたいと思います。

本日は、誠にありがとうございました。

【札幌市 PTA 協議会 高原会長 ご挨拶】

日頃より協議会の活動にご理解、ご協力いただきましてありがとうございます。

また、本日は要望書への回答書手交式と意見交換会の機会をいただきまして誠にありがとうございました。

意見交換会では様々な各項目に対して具体的な数値なども交えてお答えいただきましたこと感謝申し上げます。

要望書を提出させていただいた時に、特にエアコンと「すぐーる」についてはぜひとも前向きにご検討いただければみたいなこともちょっと発言させていただいたところで、エアコンについては、これから PFI 事業者を選定されるということですが、必要な情報は HP で公開していくように勧めるということをお言葉いただいたのと、「すぐーる」についてもガイドライン作成中だということで、おっしゃる通りプッシュ方式なので情報が多すぎると、本当に重要な情報が埋もれてしまう恐れがある中で、なかなか届けたい情報はあるんですけど、その中で選択しながらどういった情報をお届けするのかわかっていうのは悩ましいところかなっていうのは私も理解しました。

教育長から PTA も教育委員会と同様の課題を認識されていて非常に心強いというお言葉いただきましたが、むしろこちらの方が、教育委員会様が我々と同じような課題を認識してくださっているというのは、教育行政を進めていただくうえで非常に心強いなという風に思いました。

今回の要望や意見交換会が保護者の観点をお伝えすることで、また何か皆様のお気づきに繋がればいいなという風に思っております。私たちも3000件を超える要望を保護者、教職員の皆様から頂いてそれを要望書として提出しているので、何らかの成果みたいなものをどうしてもでなければならぬ使命感で臨んでいるところなので、どうしてもこう、要望とか回答とかって言うふうとなると対立みたいな感じに構図になりがちなのかもしれないんですけど、同じ課題を持つ団体として、これからも同じ方向を向いて歩みを進めていただければという風に感じました。

本日はどうもありがとうございました。